



同じ目線で演奏すると一体感が高まり、メンバーも観客も大盛り上がり



本番ではバシッと決めます！



結成当時の田島さん(左)と橋本さん(右)

### 私たちかあちゃんず！

「こんにちは！かあちゃんずです！元氣よくあいさつするのは田島由起さん(57)と松本みどりさん(50)。」

かあちゃんずは、割烹着がトレードマークの管楽器アンサンブルグループ。結成は乳幼児の育児サークルに田島さんと現メンバーの橋本香織さん(45)がサクセスデュエットで出演したことがきっかけ。練習も本番も楽しかったことが忘れられず、昼間に子どもたちを遊ばせながら合奏しようと田島さんが提案した。メンバーは、「とにかく明るい、そしてゆるい。でも、まとまっている。」「居心地が良くて、一体感がある。」「口をそろえる。」

そんなかあちゃんずのモットーは、「練習も本番も笑顔で楽しく、みんながやれることをやる」。施設などから演奏の依頼を受けることも多いが、演奏を聴いてくれるお客さんと一緒になって楽しめることを目指して活動を続けている。

「宇城市は練習する場所も充実していて、いろんな団体から演奏



## 元気で楽しく みんなを笑顔に

### かあちゃんず Kaachanzu

平成17年結成。現在メンバー20人。宇城市を中心とした福祉施設や特別支援学校、幼稚園などを対象に活動する管楽器アンサンブルグループ。観客と一体になって音楽を楽しむことをモットーに演奏を行っている。

演奏依頼などはこちら  
團田島 ☎090-1874-4266

かあちゃんずの  
紹介動画はこちら



を披露する機会を与えてもらって楽しく活動できています。」と話す松本さん。かあちゃんずが紹介されたテレビをたまたま見たことが加入のきっかけ。思い切って電話したところ、皆、温かく迎え入れてくれた。

活動は主に日中。メンバーの家庭の状況が似ているので集まりやすいのもうれしいところ。仕事で参加できない人のために夜間の練習もあるが、家族もかあちゃんずの活動に理解があって協力してくれるという。

### ハプニングだらけの演奏会

たくさん場所で演奏をしてきたかあちゃんずは、日々のエピソードも

ソードもハプニングだらけ。子どもも発熱で当日のドタキャンは日常茶飯事。メロディーをつなげてみんなで乗り切ってきた。

中には、本番直前に壊れた楽器の代わりを調達している間、漫才とデュエットで時間を稼いだことも。また、本番中3歳の娘がバッグからステイックを勝手に取り出し、横で一緒にシンバルを叩いたりと、思い出に残るうれしいハプニングもあった。

### これからのかあちゃんず

かあちゃんずの活動は、子どもも大人も同じステージで楽しめて、聴いてくれる人たちも楽しめる。自分たちも周囲の人たちも笑

顔にできる演奏はやりがいを感じることが多い。

「今を大切に、人との出会いを大切に、自分が楽しく人生を過ごしながら周りの人を笑顔にして楽しい人生を歩いていきたい。」というのがメンバー全員の共通の想い。結成から約18年。子どもが成人したり、孫ができたメンバーもいる。転勤で県外に引っ越した人は、今でも曲のアレンジ担当として貢献している。

「当初の計画通り『かあちゃんず』から『ばあちゃんず』になれる日を楽しみに、これからもゆるく、ずっとみんなと一緒に演奏を楽しみたい。」観客の笑顔のため、これからもかあちゃんずの演奏は続く。

